

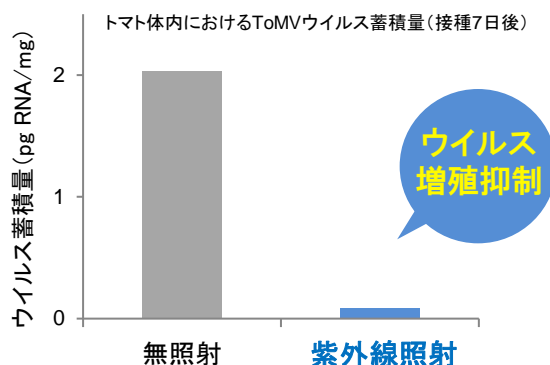
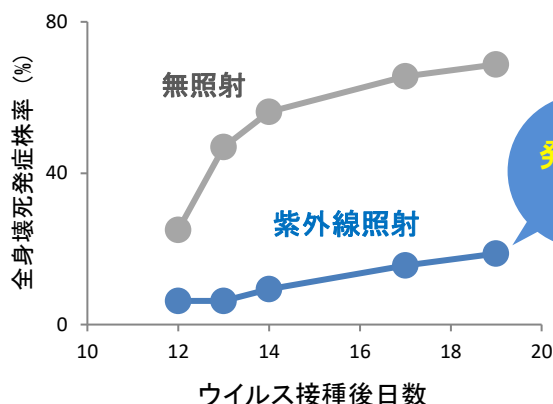


紫外線でトマトウイルス病抑制

～ ウイルス病害防除の新技术 ～

セールスポイント

- ◆ 媒介昆虫や作業者の手指を介して感染し、農薬が効かないため、防除が困難とされてきたトマト苗の「ウイルス病」の発病を抑制することができます。
- ◆ 照射する紫外線LED光は、トマト苗に黄化、えそ及び株のわい化といった障害を与える有害な波長域(UV-C)を含みません。



活用場面と発明の特長

具体的な活用場面

- ◆ トマト苗の育苗施設、植物工場での使用

発明の特徴

- ◆ 280～290nmの波長を含む紫外線LED光を1日あたり0.7～1.4kJ/m²の照射量(8時間程度)で照射することにより、ウイルス病の感染や発病を抑制することができます。
- ◆ 紫外線LED光によるトマト生育への悪影響はほとんどありません。



無照射

紫外線照射

基本情報

発明の名称	トマト育苗方法、育苗装置及び植物工場		
特許権者	広島県		
出願番号	特願2014-131154	出願日	平成26年 6月26日
特許番号	特許第6217980	登録日	平成29年10月 6日
実施許諾実績	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	事業化実績	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
共同研究	<input checked="" type="checkbox"/> 要相談 <input type="checkbox"/> 不可	サンプル提供	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
問合せ先	農業技術センター 技術支援部		TEL 082-429-0522